



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 科研製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4521 URL <https://www.kaken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀内 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 近藤 康彦

TEL 03-5977-5007

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	30,154	59.8	10,902	—	11,258	—	8,439	—
2026年3月期第1四半期	18,867	3.4	14	△99.5	417	△86.1	271	△84.5

(注)包括利益 2027年3月期第1四半期 8,880百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 40百万円 (△97.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	222.86	—
2026年3月期第1四半期	7.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	187,414	152,883	81.6
2026年3月期	178,217	147,619	82.8

(参考)自己資本 2027年3月期第1四半期 152,883百万円 2026年3月期 147,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	95.00	—	95.00	190.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	95.00	—	95.00	190.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,900	17.0	7,900	—	8,600	—	6,500	203.1	171.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※前年度営業利益は、営業損失899百万円、前年度経常利益は、経常損失206百万円となっております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	44,139,730 株	2026年3月期	44,139,730 株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	6,271,571 株	2026年3月期	6,271,415 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	37,868,209 株	2026年3月期1Q	38,042,686 株

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)及び株式給付信託(J-ESOP)が保有する当社株式が含まれております(2027年3月期1Q 199,700株、2026年3月期 199,700株)。また、株式給付信託(BBT)及び株式給付信託(J-ESOP)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2027年3月期1Q 199,700株、2026年3月期1Q 109,314株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(企業結合等関係)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

国内医薬品事業におきましては、高齢化社会の進行等によって国の医療財政が逼迫する中、薬価制度の抜本改革をはじめとする様々な医療費抑制策が進められており、当第1四半期連結累計期間においても引き続き厳しい事業環境にあります。

このような環境の中、当社グループは、2022年を起点とする10か年の経営計画において、製薬業界を取り巻く厳しい状況や、それに伴う当社グループの長期的課題を分析し、2031年ビジョンとして「画期的新薬の迅速な創出・提供により健康寿命延伸に貢献し続ける企業」「皮膚科、整形外科領域を中心にグローバルに展開する創薬企業」を掲げました。また、当社グループは、ビジョン実現のための戦略として「研究開発」「海外展開」「経営基盤」の3つのTransformationを策定し、研究開発への積極的な戦略投資、高い有効性と安全性を有し世界に通用する医薬品を効率良く創出・販売できる体制の構築、挑戦と変革を追求し続ける人材の育成等を進めております。

農業薬品事業におきましては、主力品である微生物由来の天然物質農薬「ポリオキシシン」の成長戦略を柱とした価値の最大化をはかっております。以上の戦略を通じて経営計画達成に向けて取り組んでおります。

なお、経営環境の変化や計画の進捗等を踏まえ、2025年4月8日に「長期経営計画2031」の一部見直しを発表いたしました。主な変更内容は、①画期的・革新的新薬の継続的な上市のための戦略投資金額の増額、②財務規律の維持、③株主還元の強化であります。詳細につきましては当社グループのウェブサイトをご参照ください。

https://www.kaken.co.jp/invest/policy/long_term.html

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、増収増益となりました。2026年4月22日に公表いたしましたジョンソン・エンド・ジョンソン社(以下、「J&J社」という。))とのライセンス契約に係るマイルストーン達成に伴い、J&J社よりマイルストーン収入70百万米ドルを受領したことで海外売上が増加したことが、増収増益の主要因であります。売上高は30,154百万円(対前年同期比59.8%増)、営業利益は10,902百万円(対前年同期営業利益14百万円)、経常利益は11,258百万円(対前年同期経常利益417百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、8,439百万円(対前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益271百万円)となりました。

当第1四半期連結累計期間における事業の主な進捗は次のとおりであります。

〔研究開発〕

- ・当社グループが、難治性脈管奇形を対象疾患として開発中の「KP-001」について、製造販売承認申請をいたしました。
- ・当社グループが開発中の「KP-483」に関する、非臨床試験及び固形がんを対象疾患とした国内第Ⅰ相試験の結果が、American Society of Clinical Oncology 2026(以下、「ASCO」という。))において発表されました。ASCOは、がん治療分野における世界最大規模の学会の一つです。
- ・当社グループが、既存治療で効果不十分なアタマジラミ症を対象疾患として開発中の「KAR」について、製造販売承認申請をいたしました。なお、KARに関する国内第Ⅲ相試験の結果が、第125回日本皮膚科学会総会において発表されました。

〔導入関連〕

- ・三洋化成工業(株)(以下、「三洋化成」という。))が製造販売承認を取得している日本初の遺伝子組み換え技術を用いた新規の創傷治癒材「シルクエラスチン創傷用シート」が、難治性創傷を含む創傷治療において保険適用されました。当社グループと三洋化成は、本製品の日本における独占的販売権に関するライセンス契約を締結しております。

〔海外展開〕

- ・爪白癬治療剤「Jublia」(日本販売名：クレナフィン)について、欧州の導出先であるアルミラル社がドイツで発売いたしました。これは、当社グループにとって欧州市場における初の製品展開となります。

〔販売提携〕

- ・当社グループは、ダイト(株)が承継予定の経口プロスタグランジンE1誘導体制剤「オバルモン錠」とプロスタグランジンE1製剤「プロスタンディン軟膏」について、同社との間で日本における販売提携契約を締結しました。
- ・当社グループとギリアド・サイエンシズ(株)(米国のギリアド・サイエンシズ・インク社の日本法人)は、セラデルパルについてこれまでの提携を拡大し、日本における販売提携契約を新たに締結いたしました。本契約は、米国のギリアド・サイエンシズ・インク社との既存のライセンス契約に基づき、当社グループが原発性胆汁性胆管炎(PBC)を対象として国内で開発中のセラデルパルについて、さらに提携を拡大するものであります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①薬業

1) 医薬品・医療機器

〔国内売上〕

医薬品・医療機器につきましては、「エクテリー」の販売開始等による売上増加があったものの、「クレナフィン」のオーソライズド・ジェネリックへの置き換えが進んだこと等により減収となりました。

〔海外売上〕

J&J社とのライセンス契約に係るマイルストーン収入により、海外売上が増加しました。

2) 農業薬品

農業薬品につきましては、除草剤「メタミホップ」等の売上が増加したことにより、増収となりました。

この結果、売上高は29,496百万円(対前年同期比61.8%増)となりました。なお、海外売上高は14,491百万円(対前年同期比714.6%増)となりました。

②不動産事業

不動産事業の主たる収入は文京グリーンコート関連の賃貸料であります。売上高は657百万円(対前年同期比3.1%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は187,414百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,196百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

負債は34,531百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,933百万円の増加となりました。これは主に、未払法人税等の増加によるものであります。

また、純資産は152,883百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,263百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

自己資本比率は、81.6%(前連結会計年度末82.8%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、マイルストーン達成に伴う一時金受領等により増収増益を見込んでおります。売上高は89,900百万円、営業利益は7,900百万円、経常利益は8,600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は6,500百万円を見込んでおります。2026年5月13日に公表した業績予想は変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,713	52,152
受取手形、売掛金及び契約資産	19,378	20,357
有価証券	5,992	5,991
商品及び製品	7,567	6,912
仕掛品	2,578	3,110
原材料及び貯蔵品	8,970	9,349
未収還付法人税等	2,068	2,068
未収消費税等	1,302	1,472
その他	1,478	1,642
流動資産合計	94,051	103,057
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,780	15,665
その他（純額）	11,353	11,402
有形固定資産合計	27,134	27,068
無形固定資産		
のれん	5,399	5,419
販売権	12,201	12,245
仕掛研究開発	5,495	5,519
その他	1,195	1,190
無形固定資産合計	24,291	24,375
投資その他の資産		
投資有価証券	18,730	18,915
長期前払費用	3,091	2,939
退職給付に係る資産	4,846	4,989
繰延税金資産	5,367	5,343
その他	704	726
投資その他の資産合計	32,740	32,913
固定資産合計	84,166	84,357
資産合計	178,217	187,414

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,428	7,625
電子記録債務	138	133
短期借入金	3,850	3,850
未払法人税等	248	3,078
賞与引当金	1,019	494
その他	8,119	9,446
流動負債合計	20,803	24,628
固定負債		
従業員株式給付引当金	61	60
株式給付引当金	196	196
退職給付に係る負債	4,716	4,804
繰延税金負債	4,405	4,435
その他	414	406
固定負債合計	9,794	9,902
負債合計	30,597	34,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,853	23,853
資本剰余金	11,406	11,406
利益剰余金	125,625	130,448
自己株式	△23,776	△23,776
株主資本合計	137,109	141,932
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,806	6,938
為替換算調整勘定	754	1,154
退職給付に係る調整累計額	2,949	2,858
その他の包括利益累計額合計	10,509	10,950
純資産合計	147,619	152,883
負債純資産合計	178,217	187,414

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	18,867	30,154
売上原価	8,995	9,183
売上総利益	9,872	20,970
販売費及び一般管理費		
給料	1,418	1,519
賞与及び賞与引当金繰入額	269	297
退職給付費用	43	△16
研究開発費	5,382	4,599
その他	2,744	3,668
販売費及び一般管理費合計	9,858	10,067
営業利益	14	10,902
営業外収益		
受取利息	43	86
受取配当金	316	307
為替差益	57	—
その他	9	14
営業外収益合計	428	408
営業外費用		
支払利息	10	14
為替差損	—	29
投資事業組合運用損	7	6
その他	6	2
営業外費用合計	24	52
経常利益	417	11,258
特別利益		
その他	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除却損	4	13
投資有価証券評価損	2	2
その他	2	—
特別損失合計	9	15
税金等調整前四半期純利益	409	11,242
法人税等	137	2,803
四半期純利益	271	8,439
親会社株主に帰属する四半期純利益	271	8,439

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	271	8,439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△196	132
為替換算調整勘定	—	399
退職給付に係る調整額	△34	△91
その他の包括利益合計	△230	441
四半期包括利益	40	8,880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40	8,880

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
商品及び製品の販売	17,961	—	17,961	—	17,961
製品の販売等に関する ライセンス契約	267	—	267	—	267
顧客との契約から生じる 収益	18,229	—	18,229	—	18,229
その他の収益	—	638	638	—	638
外部顧客への売上高	18,229	638	18,867	—	18,867
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,229	638	18,867	—	18,867
セグメント利益又は損失(△)	△324	338	14	—	14

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
商品及び製品の販売	17,531	—	17,531	—	17,531
製品の販売等に関する ライセンス契約	11,964	—	11,964	—	11,964
顧客との契約から生じる 収益	29,496	—	29,496	—	29,496
その他の収益	—	657	657	—	657
外部顧客への売上高	29,496	657	30,154	—	30,154
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	29,496	657	30,154	—	30,154
セグメント利益	10,526	376	10,902	—	10,902

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	618百万円	920百万円
のれんの償却額	18	79

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2025年3月26日に行われたAadi Bioscience, Inc. との企業結合について、前第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、前第1四半期連結会計期間末において暫定的に算定されたのれんの金額13,223百万円は、会計処理の確定により8,575百万円減少し、4,648百万円となっております。のれんの減少は、取得原価の調整による減少16百万円のほか、販売権が10,467百万円、仕掛研究開発が1,046百万円、繰延税金負債が2,954百万円それぞれ増加したことによるものであります。なお、四半期連結損益計算書への影響はありません。